

テーマ：地域活動への参加で貯まる新たなポイントカードの開発と導入で地域発展を

1. 提案の背景

1) ポイントカードが持つ人を動かす力

現在、全国の多くの店舗で購入によってポイントがたまるポイントカードシステムは採用され、普及している。また、夏休みのラジオ体操ではスタンプカードを用いることで早朝に行われているにもかかわらず多くの小学生を集めている。このようにポイントカードは人を動かす力の源となっている。そこで、今回はポイントカードの持つこのような人を動かす力を利用して地域活性化を図ろうと考えた。

2) 地域の抱える問題

核家族化、転勤・転出入の増加による近隣住民との関わりの希薄化、大型ショッピングセンターの進出による商店街の衰退、地域行事への参加者の減少、伝統行事の後継者不足、が挙げられる。特に地域住民の交流や活発な地域活動は子供たちの健全な教育環境の整備にもつながると考えられる。これらは各地域に暮らす人々の将来に向けて解決せねばならない問題である。

2. 提案内容

1) 提案概要

お祭りなどの地域行事や伝統行事などの地域活動(イベント)を中心に置いたポイントカードの開発・普及によって地域の抱える問題を解決し地域発展を図る。

2) 将来の展望

利用可能な地域の拡大を目指し、全国の地域でシステムの連動を行うことで、全国的に地域の問題解決を行う。

3. 期待される波及効果

- ・地域行事への参加者が増加する。
- ・地域行事を通して近隣住民同士の交流の場を作る。
- ・伝統行事へ触れる若者が増加する。
- ・博物館や資料館の利用者が増加する。
- ・ポイント消費により商店街の利用者が増加する。
- ・観光客の増加。

4. 具体の実施内容

1) 提案するポイントカードが備える機能

以下の機能を備えるカードの開発によって地域活性化を目指す。

地域行事・イベントに参加することでポイントを得ることができる。

商店街での買い物でポイントを得ることができる。

貯まったポイントを商店街で換金(利用)できる。

貯まったポイントをバス・電車の乗車料金として換金(利用)できる。

地域ごとの特色のある高いデザイン性をもつ(ご当地カード)。

博物館や歴史資料館などの施設で割引券として利用できる。

ポイントの有効期限なし。

携帯電話でカードのQRコードを読み取ると近くのイベント情報が得られる*

* . . . 地域行事やイベントの情報を提供するためにGPSと連動して現在地点の近くで行われるイベントや地域行事の検索システムを開発する。

2) 利用地域の拡大

・利用可能地域を全国に広げ、システムを連動させることで一定の地域だけにこだわらず日本全国の地域での活性化を期待することができる。

・携帯電話のGPSから位置検索機能と連動させ、利用者の現在地付近で行われるイベント情報の供給システムを開発することで、旅行先のイベントなどにも参加しやすくなる。

・ご当地デザインカードを作ることで各地域のカードを集める楽しみを作り、両行の記念品としても活用できる。

・バス・電車の料金としても利用可能とすることで隣の市や町へのイベントにも参加しやすくなる。

5. 課題

- ・カードの管理母体の設置
- ・イベント情報システムの管理
- ・換金制度の財源
- ・多くの地域で普及させるために知名度の向上が必要
- ・導入後の効果の数値化
- ・カード製作にかかるコストの算出
- ・商店街への導入説明
- ・バス・電車会社への導入説明
- ・各博物館等での割引機能の認可

以上